

道路除排雪、水道管破裂・漏水、農業用ハウスなどで積極的支援を 日本共産党新潟県委員会、現地調査や被災県民の声をもとに新潟県に対策と支援を要請



① 1月中旬から断続的に襲来した寒波と豪雪により多くの自治体で、屋根雪の除排雪処理などに多大な支障を来しています。基準に該当する自治体には、今後も災害救助法および新潟県救助条例をすみやかに適用されるよう特段の配慮をしてください。

② 海岸部や平野部では除雪体制の弱さと不慣れから、除排雪に遅れを来している地域も少なくなく、生活に様々な障害が発生しています。県として、市町村の枠をこえた支援体制をとり、屋根雪や道路の除排雪、倒木などの障害物の除去などに全力をつくしてください。

③ 佐渡市では、水道管破裂・漏水に伴う水道料金の負担を減らす緊急措置、胎内市では生活保護世帯の給湯器の無償修理など、市町村独自の支援を行っています。県として、市町村と連携して発生した被害への支援、水道管の復旧費用への助成など、可能なかぎり個人負担を軽減するよう支援してください。

④ 各市町村は、要援護世帯の屋根雪処理のため、一定の財政支援を行っています。融雪屋根の家屋には支援がありません。異常な低温状態が続く、融雪屋根のための灯油代は「月15万円をこえた」など5倍にのぼる世帯もあります。融雪屋根の世帯に燃料代の支援をしてください。

「県内各地で大雪による交通障害、低温による水道管の破裂や漏水、雪下ろし中の事故などの人的被害や建物被害などが広がっている」として、県民が安心して生活できるように、7項目に及ぶ対策や支援を求めました。

7項目は次の通りです。

い。

⑤ 積雪により、農業用ハウスが倒壊する事例が発生しています。被害の実態調査を早急に進めるとともに、被害を受けた農家への支援をしてください。

⑥ JR在来線の運行が大幅に乱れ、通勤や通学など県民生活への影響は甚大です。県として、JR東日本に対して除雪体制の強化や公共交通機関としてふさわしい役割を果たすよう強く求めてください。

⑦ 国に対して、特別交付税の速やかな交付をはじめとする財政措置を強く求めてください。



【ショウジョウバカマ】
メランチウム科の多年草。漢字で「猩々袴」と書きます。春を告げる花のひとつ。雪が滑り落ちた山の斜面などで薄紫色や白などの花を咲かせます。写真は白い花です。花言葉は「希望」です。

3月議会が始まります。ぜひ傍聴にお出かけを

下表は会議日程です（いずれも午前10時開会）

日（曜日）	会議	場所	備考
3月1日（木）	本会議	議場	提案説明・総括質疑
3月2日（金）	本会議	議場	総括質疑
3月5日（月）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月6日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月7日（水）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月8日（木）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月9日（金）	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月12日（月）	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月13日（火）	総務委員会（橋爪担当）	第1委員会室	付託案件審査
3月14日（水）	総務委員会（橋爪担当）	第1委員会室	付託案件審査
3月16日（金）	本会議	議場	一般質問
3月19日（月）	本会議	議場	一般質問
3月20日（火）	本会議	議場	一般質問
3月22日（木）	本会議	議場	一般質問
3月26日（月）	本会議	議場	議案採決

はしづめ法一の
活動レポート

No.1846 2018.2.25

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四九四回

ソリ遊び

ソリに乗って雪の斜面を滑る、たったそれだけのことなのに、こんなにも楽しいとは……。二月上旬のある日、大島区板山地区で、私はそれこそ数十年ぶりにソリ遊びを楽しみました。

この日、K建設事務所の二階へおじやましたとき、事務所で働くショウキさんのお連れ合いから「田舎体験で子どもたちが来ているんだわ」と教えてもらいました。

事務所二階からはスコップで雪を掘っているショウキさんと娘さん、そして三人の子どもたちの姿が見えました。「何をしているんだらうか」そう思いながら近くまで行ってみました。

ショウキさんが掘っていたのは「かまくら」です。だいぶ難儀していました。その様子をカメラに収めるつもりだったのですが、ショウキさんが、「おい、『春よ来い』に書いてもらえらるど」などと子どもたちに声をかけていました。そして、私にソリに乗るように促したのです。

それまで気づかなかったのですが、ショウキさんの住宅の西側にはブルドーザーで整備した雪の斜面がありました。長さは約三〇メートル、高低差は二メートルほどです。緩やかな斜面で、都会の子どもたちが滑り下りるには最高のグレンデとなっていました。

乗ってみるようにならされたソリは市販の本格的なものでした。ハンドルも付いているし、ブレーキもあります。私が子ども時代に買ったミカン箱に孟宗竹をはかせたソリとは大違いです。

ソリを手を持って斜面を登ろうとしたら、ショウキさんから声がかかりました。「そんがんことしなくても、もつと楽に運べるがど。ヒモついてるだろ」と。なるほどソリの前の部分にはヒモがついていて、これを引けばソリは軽く動くのでした。最

近のソリは便利にできているんですね。

グレンデの一番高いところまで行って、私はソリに乗りました。気合を入れて、走らせはじめると、ソリはすぐにスピードを上げ、下りていきます。何十年もソリには乗っていませんから、緩やかな斜面とはいえ、緊張しました。「タッタタッタタ」。私は興奮して大声をあげてしまいました。

ほんの五秒ほどの滑りなのに、スピード感を味わうことができて、スリルもある。乗っていた私だけでなく、近くで見ていた子どもたちも大人も喜んで、笑顔になっていました。「こんがにおもしろいや、子どもたちが喜ぶのは当然だ」と思いました。

私はこのグレンデで二回、ソリに乗りました。二回の滑走で私は子ども時代のソリ乗りのことを完全に思い出すことができました。

私やわが家の近くの子どもたちが一番手軽に作ったソリは、稲わらとネマガリダケの葉だけで出来ていました。三月、雪がカチカチに凍った時に虫場のサクラサワ（屋号）の近くの急斜面を使って滑り下りました。スピードはけっこう出ましたが、バランスを失って、転ぶこともありました。

スリル満点だったのはミカン箱のソリです。たぶん、ヒガシ（屋号）のこいチャが作ってくれたのでしよう。稲わらなどのソリとはスピードが全然違いました。ちよつとでも気を緩めると、杉林のなかや川につっこむ心配がありました。それでもみんな乗りましたね。おもしろくて……。

この日、私はひとつの発見をしました。ソリは単なる遊び道具ではなく、タイムマシンにもなるということ。ソリに乗っただけで五十数年前の暮らしを感じ、当時の遊びを思い出しました。もちろん、虫場に

長野市災害対策本部室を視察

長野市議会との交流会が20日にありました。交流会の前に、同市の災害対策本部室を見せてもらいました。大雨、地震などの各種データが集中される最新装備でした。上越市が庁舎の使い方を直すというなら、こういう市民の命と安全を守る対策室を重視してほしいと思いましたね。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月14日(水)	2月21日(水)
上越南消防署	0.037	0.030
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.050	0.057
東頸消防署	0.043	0.040
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053

いのち、それは奇跡
～いのちみつめるコラボイベント～

すべての人たちは例外なく母親のお腹から生まれてきました。それは当たり前でなく奇跡であること。そして、あなた自身がかけがえのない存在であることを実感していただきたい。そんな思いが形になりました。

映画「うまれる」上映会 2月17日(土) 上越市市民プラザ

いのちみつめる4組の夫婦の姿を通して、妊娠・出産だけでなく、産後・育児、不妊、難産、「子供が産まなかった」という胎内記憶など、いのちと生きることを向き合つ、うまれてきたすべての人たちに贈るドキュメンタリー映画。

◆2月17日(土) 上越市市民プラザ 第2会議室
①13:30~16:00(子連れ歓迎・鑑賞後シェアタイム有)
②16:30~18:30 ③19:00~21:00

◆前売1,000円 当日1,300円(小学生以下・障がい者の方無料)
各回定員70名。前売券の方は、お席確保のため早目にご来場ください。

◆プレイガイド
アコーレサービスカウンター、戸田書店、
香蘭館書店、宮崎農機具店

◆問合せ・連絡先 コラボイベント実行委員会
090-2535-2757
happylab017@gmail.com

▲後援 フリーバーバー WILL

映画「うまれる」

「うまれる」という映画を17日、みしてきました。私は牛飼いでしたので、牛の誕生は、それこそ300回くらいみしてきました。そこでは、我が家の子どもたちが立会い、生まれたばかりの仔牛が初めて目を開けたときに拍手をするなど感動的な場面が何度もありました。

その一方で、死産がありました。また、逆さ子や羊水の膜がなかなかやぶけなかったこともありました。そういう場面をみしてきた私ですが、人間の赤ちゃんの誕生は一度もみたことがありません。映像でもほんの一部だけでした。この映画をみて、改めて、いのちが誕生するというのは奇跡であり、いのちのリレーであることがよくわかりました。映画を見終わったとき、母に会いたくなりました。